HCTC
since 1973
ガット
東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

3月号

発行：
東村山市民
テニスクラブ協議会
会長　川 路 俊 一

http://www.higashimurayamatennis.com/
http://www.higashimurayamatennis.com/i.html

・ナイター会員の募集を行います。
期間：３月１日―３月３１日の１ヶ月間です
参加希望者は、会費：５，０００円を本部会計に振込願います

・春の市民大会日程（恩多コート）
ミックスダブルス：　４月　３日（日）
男子ダブルス（B）（C）：　４月１０日（日）
女子ダブルス（B）（C）：　４月１７日（日）
男子ダブルス（A）：　４月２４日（日）
男子ベテランダブルス：　４月２４日（日）
女子ダブルス（A）：　４月２９日（祝）
女子ベテランダブルス：　４月２９日（祝）
予備日：５月１日（日）・３日（祝）・４日（祝）

２月１３日（日）　運営委員会開催　柳泉園　９：３０より

☆　川路会長
・４月１日以降の久米川コート整備について体育協会と話し合いをし、総会で決定された通りお断りをしたが、土日（祝）だけでもお願い出来ないかの申し出があり運営委員会で話し合いその結果を連絡することとした。
・体育協会の現状
シルバー人材センターへは予算がないため依頼は実質不可能。これまでの経緯から他団体への依頼は考えられないので別途対策を講じる必要がある状況。

☆　斉藤副会長
・各クラブ会長へ柳杯実行委員の選出をお願いします。

☆　事務局
・ナイター会員の募集を行います。
・七中のコート開放は２年ごとに申請手続きが必要ですので早急に手続きをお願いします。

☆　技術部
・３月１３日（日）１５時～　７中にてチャレンジスクール
・３月２１日（月）１０時～　中級スクール

☆　広報部
・名簿の作成に必要な、資料をお願いしました。
・ガット郵送不要な方及び再開を希望の方随時受付中（各クラブ会長へ連絡願います）

☆　会計部
・月次報告あり。

☆　コート取り部
・３月のコート確保状況
久米川コート：７１％、　恩多コート：８９％の確保率
久米川コートの３面以上確保の時間帯は３６時間帯中、２７時間帯で７５％の確保率でした。
土・日曜日午後の久米川３番コートに関して、競争率が高く、厳しい状況でした。
・コート取り部のこれからのあり方について、３月に第１回目の打合せを行ない、今後継続的に打合せを開催、課題の解決を図る予定です。

各クラブ３月の予定

☆　萩山クラブ
・練習会　３月５日（土）東村山西高校　午前

☆　青葉クラブ
・練習会　３月６日（日）東村山西高校　午前

☆　栄クラブ
・練習会　３月６日（日）東村山西高校　午後

☆　諏訪クラブ
・練習会　無し

☆　美住クラブ
・練習会　無し
・七中コートについては、近年技術部で使用しているが、従来のように美住クラブの練習会として使用したいので美住用のコート確保をお願いしたい。

３月のコート

	5(土)	6(日)	12(土)	13(日)	19(土)	20(日)	21(月)	26(土)	27(日)
7-9	A,B,C	B,C,D	A,B,C	C,D,E	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C	A,B,C
8-9	―	2,5	―	1,2,3,5	―	1,2,3,5	1,2,3,5	―	1,2,5
9-11	1,2,4,5	2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,4,5
11-13	1,2,3,5	2,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,3,5	1,2,5	1,2,5
13-15	4.5	1,2,3,5	1,2,3,5	2,5	―	2,4,5	1,2,3,5	1,2,4,5	1,5
15-17	4,5	1,2,3,5	1,2,3,5	2,5	5	2,4,5	1,2,3,5	1,2,4,5	1,4,5
17-18	―	-	-	-	-	-	-	-	-

＊数字は久米川コート，アルファベットは恩多コート
6日・13日はどれかをソフトに渡す、もしくは交換があるかもしせん

東村山西高校

	午前	午後
5	萩山	―
6	青葉	栄

平成２２年度　総会資料

平成２３年１月２３日（日）スポーツセンター大会議室において５１名の参加者（萩山：１１名・青葉：１２名・栄：９名・諏訪：１０名・美住：９名）のもと平成２２年度の総会が行われました。総会において、過半数の賛成により承認された、決算報告と予算案及び各部の活動計画を掲載します。

前半　議長　山田　智靖（栄　クラブ）　　後半　議長　今井　奨（諏訪クラブ）

東村山市民テニス協議会　　平成 23 年 1 月 23 日

平成 22 年度会計決算報告書

（平成22年1月1日～12月31日）

協議会会長　川路 俊一
会計部　河嶋 和興
古村 和子

〔収入の部〕

科　目	平成 22 年度予算	平成 22 年度決算	摘　要
前期繰越	1,392,807	1,392,807	
年会費	4,696,000	4,704,500	340名(1 名途中復帰)
ナイター会費	130,000	124,500	5,000円×21名＋ビジター収入500円×39名
本井教室会費	120,000	0	無料
コート代還付金	0	384,400	（ソフトテニス調整金 54,900 円含む）
雑収入	5,000	1,767	銀行利子他
合　計	6,343,807	6,607,974	

単位＝円

〔支出の部〕

科　目	平成 22 年度予算	平成 22 年度決算	摘　要
コート代	2,000,000	2,063,300	市営コート，民間コート(120,750 円)
クラブ運営費	779,000	779,000	279 名分(ジュニア・休会者除く)
ボール代	550,000	547,260	4球入 650 缶
広報費	490,000	451,796	ガット印刷、郵送費、会員名簿、ホームページ運営費他
保険料	391,300	391,300	301 名分 ×@1,300
本井教室開催費	250,000	252,208	コーチ謝礼 20 万円、ボール代(60 缶)他
技術部費	150,000	91,678	スクール運営費、会議費、技術向上費他。
柳杯開催費	420,000	403,843	コート代(348,000 円) ボール代(40 缶)会議費、事務費等
親睦費	130,000	151,168	忘年会補助金
事務局費	120,000	83,032	事務諸経費、会議費他
団体加盟費	40,000	40,000	東村山硬式テニス連盟
事業積立金	200,000	200,000	記念事業積立基金
小計	5,520,300	5,454,585	
予備費	823,507	10,000	香典見舞金
次期繰越金	0	1,143,389	
合計	6,343,807	6,607,974	

単位＝円

事業積立金特別会計
繰越金＝ 618,068 円
積立金＝ 200,000 円
利息＝ 189 円
合計＝ 818,257 円

コート整備特別会計
繰越金＝ 848,864 円
受託金＝ 381,468 円
利息＝ 252 円
運用支出＝ −60,968 円
合計＝ 1,169,616 円

平成 22 年度会計監査報告

平成 22 年度会計決算報告に対し会計監査の結果、収支帳簿等に相違ないことを認めます。

平成 23 年 1 月 23 日
会計監査
西村 秀和
伊藤 直美

東村山市民テニス協議会　　平成 23 年 1 月 23 日

協議会会長　川路 俊一

平成 23 年度予算(案)

会計部　河嶋 和興
古村 和子

(平成23年1月1日～12月31日)

[収入の部]　　単位＝円

科　目	平成23年度予算	摘　　要
前期繰越金	1,143,389	
年会費	4,530,000	年会費・入会金 329名分
ナイター会費	130,000	5,000円×24名＋ビジター10,000円
コート代還付金	300,000	
雑収入	5,000	利子等
合 計	6,108,389	

[支出の部]　　単位=円

科　目	平成23年度予算	摘　　要
コート代	2,100,000	東村山市市営コート費、民間コート費
各クラブ運営費	767,000	267名分(ジュニア・休会者除く)
ボール代	550,000	4球入り 650缶
広報費	490,000	ガット、ホームページ運営費、名簿他
保険料	380,900	293名×1300円 (休部除く)
本井教室開催費	250,000	コーチ謝礼、ボール代他
技術部費	150,000	スクール運営費、会議費、技術向上費他
柳杯開催費	420,000	コート代、ボール代、事務費、諸経費他
親睦費	130,000	懇親会等
事業積立基金	200,000	記念事業積立基金
事務局費	100,000	事務諸経費、会議費
コート取り運営費	50,000	事務諸経費、会議費
団体加盟費	40,000	東村山市テニス連盟会費
小 計	5,627,900	
予備費	480,489	
合 計	6,108,389	

事業積立金特別会計

繰越金	818,257 円
積立金	200,000 円
利息	243 円
合計	1,018,500 円

コート整備特別会計

繰越金	1,169,616 円
コート整備受託金	150,000 円
利息	384 円
合計	1,320,000 円

平成２３年度役員一同

会長	川路	俊一	(萩山クラブ)
副会長	小武海	一喜	(諏訪クラブ)
副会長	斉藤	勝之	(美住クラブ)
会計部長	河嶋	和興	(萩山クラブ)
会計副部長	古村	和子	(萩山クラブ)
技術部長	市川	順次郎	(青葉クラブ)
広報部長	澤田	正男	(青葉クラブ)
事務局長	若林	尚明	(諏訪クラブ)
事務局次長	松原	秀樹	(美住クラブ)
コート取り部長	稲用	一	(栄　クラブ)
事務局員	高木	大輔	(萩山クラブ)
事務局員	阿部	昌史	(青葉クラブ)
会計監査	西村	秀和	(美住クラブ)
会計監査	伊藤	直美	(萩山クラブ)

運営委員会活動計画

１．運営委員会の開催
市民テの円滑な運営を目的とし、毎月第２日曜日に開催します。

２．コートの確保
コート取り実行委員会（仮称　コート取り部）を中心にコート確保に努め、「還付」･「振替」を推進します。

１）市営コート
・久米川コート　　１月～１２月の土・日・祝祭日の昼間
・恩多コート　　　１月～１２月の土・日・祝祭日の早朝（７：００～９：００）
　　　　　　　　　４月～１１月の水曜日ナイター（１９：００～２１：００）

２）外部コート
東村山高校、東村山西高校の学校開放事業、東村山７中のスポーツ開放を利用します。
年始は、民間コートを確保します。

３．本井教室の開催
市民テのイベントと位置付けし、東村山西高校の学校開放日を利用し、昨年同様の内容で開催します。

４．柳杯
アンケート結果を参考に、日程・場所について運営委員会で調整していきます。

５．ナイター会員の募集
３月１日～３月３１日の１ヶ月間、ナイター会員を募集します。この期間以外は受け付けません。
Ｈ２２年度はレギュラー会員２１名、ビジター会員９名の参加でした。

６．テニス保険の加入
平成２３年度も例年通りテニス保険に加入しました。
期間　平成２３年１月１日～平成２４年１月１日
休部会員を除く会員（正会員）２９３名（あいおい損害保険）

７．新入会員募集
１０月１日～１０月３１日の１ヶ月間、平成２４年度の新入会員を募集します。

８．その他検討課題等については、積極的に解決を図っていきます。

技術部活動計画

１．初心・初級・ジュニアスクール（毎日曜　８：３０～１１：４０、久米川コート）

１）表記対象者について、Ⅰ期（１月～３月)、Ⅱ期（６月～８月)、Ⅲ期（１１月～１２月）の各期間でスクールを開催する。
レッスンは下記の時間帯、およびクラス分けで実施する。
・前半（８：３０～１０：００）　初心者、ジュニア
・後半（１０：１０～１１：４０）初級者
本スクールは初心者が受講しやすくする為、スクール生の技術レベルが初級以上と判断した場合、または、市の大会等で上位に入賞したスクール生にはスクール卒業を依頼することがある。

２）例年通り受講者を事前に募集した。受講登録者数は下記の通りであった。

合計	６７名（内新規登録者　２８名）
前半（初心クラス）	１７名（内新規登録者　　９名）
後半（初級クラス）	２５名（内新規登録者　　５名）
ジュニア	２５名（内新規登録者　１４名）

２．中級スクール（祝日、１０：００～１２：００、久米川コート）

１）２月～１２月の祝日を利用して、中級者レッスンを５回開催する。
２）年間のカリキュラムは事前にガット及び市民テニスクラブホームページに掲載すろ。

３．役割分担：技術部の役割分担を以下の通りとする。

部長	市原順次郎（青葉クラブ）
副部長（前半スクール責任者）	西村拓治　（諏訪クラブ）
副部長（後半スクール責任者）	岩崎弘　　（萩山クラブ）
副部長（中級スクール責任者）	河野好太郎（栄クラブ）

４．その他イベント

１）技術部員の技術向上及び指導技術向上のため、外部指導者によるレッスンを実施する。
２）技術向上と親睦交流のため、他クラブと親善試合を３回実施する。
３）「JTA　TENNISRULEBOOK　２０１１年度版」を購入し、久米川コートに常備する。
４）技術部会を開催する（３～４回／年　納会反省会を含む)。
５）指導者講習会に参加する。
６）参加意識を喚起し、土日の活動に移行を計るためのスクール生対象イベントを企画し開催する。(前期／後期の２回を目標とする)
７）本井教室の企画及び運営を行う。
８）市民テのイベントに対し企画提案に協力する。

広報部活動方針

１．ガット

　１）月末までに郵送出来るように、編集作業を行う。

　２）編集の際には、間違いや正確性を欠くような内容は極力避ける。

　３）皆で活動する市民テの皆さんが親睦を図れるような紙面を作成するように努める。

　４）広報部員が協力をして、紙面作りを担当していきますので、原稿等の協力依頼がありましたら、皆様もご協力をお願い致します。

２．ホームページ（HP）

　１）ホームページにアクセスすれば最新情報がみられるように、更新を行います。

　２）紙面で掲載できないような写真（カラー）を使用します。

３．会員名簿

　１）間違いの無いような内容にする。

　２）遅くとも３月号のガット郵送時に届くようにする。

会計部

平成２３年度　会員数及び収入内訳。

各クラブ運営費　交付内訳は　１月号に掲載済み。

運営員会からの提案事項（規約の一部改正）

・東村山市民テニスクラブ協議会会則第１９条第４項により、テニスコート確保の向上と、コート取り作業の精度向上を図るため、コート取り実行委員会を「コート取り部」とし事務局から独立した組織にし、部に昇格させる。

・設置の背景と理由

「コート取り部」設置の背景としては、現状、全体のコート申し込み件数は新システム導入に伴う抽選コマ数制限の緩和等により急増、それに伴い市民テの申し込みウェイトは低下、コート申し込みは徐々に厳しくなっています。このような状況の中、コート確保は、市民テの最重要課題であり、コート取りには、作業の専門的な機能と共にコート確保に係る諸問題を解決するための組織が必要とされます。このような観点から今般「コート取り部」を設置します。